

付

録

年 表

時代区分					時代	時代	時代	時代	時代	時代	時代
古代	原	始	時	代	西暦	日本年号	郷土のできごと	日本のできごと	年表		
時墳時代	弥生時代	縄文時代	旧石器時代								
五世紀	四世紀	一三九	AD五七年		BC八千年						
川内川流域に地下式板石積石室が造られる					始良火山灰降下（シラス台地できる）						
大和朝廷の国土統一進む					桜島火山灰降下						
大和朝廷朝鮮に出手する					アカホヤ火山灰降下						
大規模古墳の築造進む（応神天皇陵、仁徳					中尾田遺跡（縄文土器出土）						
					縄文文化始まる						
					弥生文化始まる（稻作始まる）						
					祭祀が生まれる						
					キリストが生まれる						
					倭の奴国王が後漢に朝貢する						
					「漢倭奴国王」金印						
					卑弥呼が魏に朝貢する						

時代区分	時代										郷土のできごと	日本の主なできごと	
	古代					近代							
西暦	奈良時代					飛鳥時代					和(古)	日本年号	
八〇五	七九四	七六九	七五八	七五二	七五〇	七二三	七〇八	七〇二	七〇一	六〇七	五九三	五三八	
延暦一三	二四	神護景雲	天平宝字	四	天平勝宝	二	養老	神龜	大宝	大化	(推古)	六世紀	
和氣清麻呂、牧園町中津川に流される	大隅八幡宮建立と伝えられる(二説あり)	大隅の国置かれる	新田八幡宮建立(川内市)と伝えられる	和同開珎を造る(日本最初の銅錢)	平城京(奈良)に遷都	『古事記』ができる	『日本書紀』ができる	東大寺大仏開眼供養	和同開珎を造る(日本最初の銅錢)	法隆寺建立	聖德太子、摂政となる	佛教伝来	天皇陵など)
平安京に遷都	最澄が天台宗を開く	大隅半島に古墳が造られる(高山町塚崎古墳群、大崎町横瀬古墳など)	このころ木浦出土の須恵器の壺作られる	大化の革新	大宝律令制定	大化の革新	大宝律令制定	大化の革新	大化の革新	大化の革新	聖德太子、摂政となる	佛教伝来	天皇陵など)

年 表



## 年 表

近		世										
江 戸 時 代					安 土 桃 山 時 代							
一五七三	五七五	一五八二	五八二	一五九〇	五九一	一五九二	五九二	一五九三	五九三	一五七三	五七三	
一六七七	一六七七	一六五九	一六五九	一六一五	一六一五	一五六〇	一五六〇	一五九八	一五九八	文禄元	天正元	
延宝五	三	万治二	一七	寛永一六	元和一六	一六〇三	一六〇二	一六〇〇	一六〇〇	慶長二	一〇三	
一六七五	一六七五	山ヶ野（永野） 安良神社修復 （郷中八四名連記札あり）	山ヶ野（永野） 金山発見、幕府から採掘を許 される	山ヶ野金山の年金産出量が最多となる （約一八六八キログラム）	安良神社建立	山ヶ野の山ノ神社建立	山ヶ野の法華宗妙雲山遠沾寺建立（現存せず）	島津義弘、朝鮮の泗川で明軍と戦う 島津義弘、関ヶ原で西軍側として戦う 徳川家康より島津氏は所領を安堵される	島津義弘、一万五〇〇〇人の軍勢を率いて朝 鮮へ出兵（栗野松尾城から） 島津義弘、再度朝鮮へ出兵する（帖佐から川 内市久見崎港を経て——船五十余艘）	島津義弘、朝鮮から兵を引き揚げる 関ヶ原の戦い	豊臣秀吉没、朝鮮から兵を引き揚げる 関ヶ原の戦い	豊臣秀吉没、朝鮮から兵を引き揚げる 関ヶ原の戦い
一六七七	一六七七	鎖国令（ボルトガル船の来航を禁する）	開く	豊臣氏滅亡（大坂夏の陣）	徳川家康、征夷大將軍となり、江戸幕府を	慶長の役	豊臣秀吉没、朝鮮から兵を引き揚げる 関ヶ原の戦い	豊臣秀吉没、朝鮮から兵を引き揚げる 関ヶ原の戦い	豊臣秀吉が全国を統一する 文禄の役	室町幕府滅亡 長篠の戦い 少年使節ローマへ派遣（九州の三大名） 本能寺の変（織田信長死） キリスト教の禁止令がでる	キリスト教の禁止令がでる	

時代区分	西暦	日本年号	郷土のできごと	日本の主なできごと
近世	一七〇五	宝永二	横川城山に北原伊勢介夫妻の墓（塚）を建て る	山川町で前田利右衛門が琉球から甘藷（か らいも）を移植した
江戸時代	一七三三	享保一九	黒葛原新田の灌漑用水路完成と伝えられる	
近代	一七三四	宝暦一〇	安良神社正一位の神位を授けられる	
明治時代	一七三五	一九三四	安良神社に本田大和守が宣命を奉納する	
一八七一	一八七〇	一七五三	薩摩藩に木曾川治水工事の幕命下る	
一八七〇	一八六九	一七五四	木曾川治水工事に着手する	
一八六九	一八六八	一七五五	木曾川治水工事全部竣工する	
一八六八	嘉永六	一七九一	山ヶ野の天神社建立と伝えられる	
慶応三	一八五三	一七九〇	金山孝子武兵衛が島津忠昌から表彰される	
明治二	一八六七	一七九二	腰越神社に木製額を寄贈する（栗野川池氏は か）	
四三	二	天保一四	「三国名勝図会」六〇巻ができる	
都城県横川郷となる	中ノの宮下に大火があった	西郷隆盛、大久保利通らによる倒幕運動	ベリー、浦賀に来る	明治と改元する（九月八日）
	諸郷に常備隊を編成する	横川の郷士、戊辰戦役に参加する	大政奉還、王政復古	東京に都を移す（江戸を東京と改める）
	島津忠義（二九代）、鹿児島藩知事となる		神仏分離令が布告される。江戸幕府滅亡す る。	版籍奉還が行われる
	寺領没収、藩内寺院全廃（廢仏毀釈）する			
	南泉院跡に島津家歴代の總社鶴嶺神社を造る			
	平民に姓を許す			
	廢藩置県を行う			

近 時 代									
明	治	時	代	一〇	九	八	七	六	五
一八九〇	一八八九	一八八五	一八八二	一八七八	一八七九	一八七八	一八七七	一八七六	一八七一
一八九三	一八八九	一八八五	一八八二	一八八〇	一八八一	一八八〇	一八八一	一八八二	一八八三
一二六	一二三	一八	一五	一三	一四	一三	一二	一〇	九
（る）	（る）	（る）	（る）	（る）	（る）	（る）	（る）	（る）	（る）
横川の街に大火起る（街の大半焼失する） 北白川宮妃殿下、横川通過（川元邸で休息す る）	横川村となり、上ノ・中ノ・下ノは大字とな る	中ノ・下ノ説教所創立する（明治三三年光雲 寺として公称される）	上ノ説教所創立する（明治三六年光明寺とし て公称される）	桑原郡横川郷戸長役場の位置・名称発表され る	横川警察署が加治木分署として設置され る	下ノ村（佐々木）小学校創立する	横川郵便局が事務取扱所として開設する	真宗大谷派鹿児島別院を開設する 金山（山ヶ野）小学校創立する	横川小学校創立する 真宗大谷派が別院を鹿児島に設ける 西南の役で横川も戦場となる
大日本帝国憲法発布される 市町村制実施される									太陽暦採用（一二月三日を明治六年一月一 日とする）

時代区分	近 代						日本年号	郷土のできごと	日本の主なできごと
	昭和時代	大正時代	明治時代	一八九五	一八九四	明治二七年			
西暦	昭和時代	大正時代	明治時代	一八九五	一八九四	明治二七年	横川村公設消防組設立する 勅使東園侍従、小南式部掌典が横川通過（川元町にて休息する）	日清戦争始まる	日清戦争始まる
昭和	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	始良郡横川村となる	下関講和条約調印される	下関講和条約調印される
西暦	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	横川駅開設される	郡区画改正される	郡区画改正される
日本年号	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	五代龍作、鉱業館長に任ずる	鹿児島・吉松間に鉄道が開通する	鹿児島・吉松間に鉄道が開通する
	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	横川村中ノ婦人会発足する 一二月二七日新町に火災起こり一八戸焼失する	日露戦争始まる	日露戦争始まる
	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	山ヶ野金山大拡張され、電動力を利用する	ボーツマス講和条約調印される	ボーツマス講和条約調印される
	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	宮下に大火起る 桜島大噴火する	韓国を併合する	韓国を併合する
	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	安良神社を改築する 山ヶ野校区婦人会発足する	大正と改元する（七月三〇日）	大正と改元する（七月三〇日）
	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	横川商工会創立する	第一次世界大戦起る	第一次世界大戦起る
	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	横川産業組合設立認可される 横川消防組県知事から表彰される	郡制は廃止される	郡制は廃止される
	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	昭和と改元する（一二月二五日）	昭和と改元する（一二月二五日）	昭和と改元する（一二月二五日）
	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	満州事変起る 日華事変起る（七月七日）	満州事変起る 日華事変起る（七月七日）	満州事変起る 日華事変起る（七月七日）
	昭和二年	大正四年	明治四〇年	一九〇八	一九〇七	一九〇六年	日独伊三国同盟締結する 第二次世界大戦起る（独伊と米英仏等開	日独伊三国同盟締結する 第二次世界大戦起る（独伊と米英仏等開	日独伊三国同盟締結する 第二次世界大戦起る（独伊と米英仏等開

年 表

時代区分		時代				西暦	日本年号	郷土のできごと	日本の主なできごと
平成時代	昭和時代	昭和時代	昭和時代	昭和時代	昭和時代				
一九九〇	一九八九	一九八四	一九七二	一九七一	一九六九	横川中と向陽中が統合する			
二	平成元	五六	四七	四六	昭和四四	山ヶ野小が安良小に統合される			
町制五〇周年記念式典を行う 羽田哲、八代町長に就任する	町郷土館落成する らる	全国植樹祭出席のため天皇陛下横川に立ち寄 る	鹿児島空港構辺町に移転開港する 畠中嘉見、七代町長に就任する	このころから横川町誘致企業が営業開始する	このころから横川町誘致企業が営業開始する	鹿児島空港構辺町に移転開港する 畠中嘉見、七代町長に就任する	鹿児島空港構辺町に移転開港する 畠中嘉見、七代町長に就任する	鹿児島空港構辺町に移転開港する 畠中嘉見、七代町長に就任する	鹿児島空港構辺町に移転開港する 畠中嘉見、七代町長に就任する
昭和天皇崩御（一月七日）、平成と改元する（一月八日）			新東京国際空港（成田）開港される	沖縄が日本に復帰する					

## 二 横川町小字一覧表

〔上ノ地区〕

小字名	地番	小字名	地番	小字名	地番
井手ノ上	1~ 4	奥ノ谷	909~1009	茶屋之後	2211~2238
牟田ヶ平	5~ 11	白仁田	1010~1042	釣柴	2239~2310
岩元	12~ 36	口屋ノ谷	1043~1058	床丸	2311~2336
小脇段	37~ 94	下居附	1059~1144	竹下	2337~2377
小脇脇	95~ 126	山谷	1146~1177	山内	2378~2411
小脇大迫	127~ 138	丸山	1178~1220	猿飯	2412~2455
安良良	139~ 170	愛宕山	1221~1293	上松	2456~2472
安良山	171	普請方	1294~1369	下松	2473~2511
川路尻	172~ 218	田町	1370~1443	猿目ヶ尾	2512~2540
井手ムレ	219~ 243	道円	1444~1457	十三谷	2541~2576
松元	244~ 276	舟戸田	1460~1478	柳原	2577~2635
八永	277~ 293	榎木田	1479~1512	弓場原	2636~2665
瀬戸内	294~ 307	外佐牟田	1513~1533	滝ノ下	2666~2698
内佐牟田	308~ 334	北園三反田	1534~1571	鳥喰田	2699~2749
石切場	335~ 354	北園小坂元	1572~1608	平牟田	2750~2777
大野	355~ 376	麻生原	1609~1678	古城原	2778~2829
東	377~ 397	水流	1679~1731	風ノ神	2830~2842
近部	398~ 449	水流前	1732~1778	迫田	2843~2921
松山	450~ 494	笞ヶ平	1799~1789	飛原	2922~2960
本町	495~ 549	愛宕尾	1790~1843	小園原	2961~3017
新馬場	550~ 583	笞ヶ前	1844~1859	役所上	3018~3085
湊町	584~ 632	崎山	1860~1884	紫尾田	3086~3162
倉谷	633~ 688	久保野	1885~1902	轟木原	3163~3199
小平	691~ 719	八郎谷	1903~1913	楠木迫	3200~3246
東唐仁	720	前山	1914~1933	森田	3247~3277
中唐仁	721	小谷	1934~1971	南ヶ迫	3278~3348
西唐仁	724~ 727	柴建	1972~1999	鷹巣	3349~3389
牟田頭	729~ 765	鏡岡	2000~2061	鍋迫	3390~3441
谷仁田	766~ 798	山岡	2062~2088	轟	3442~3483
浦ノ谷	799~ 802	松岡	2089~2093	狩俣	3484~3525
西瓜谷	803~ 806	木屋木	2094~2143	水大迫	3526~3356
高木	809~ 842	大鉢田	2144~2167	大永	3357~3589
	843~ 908	木場田	2168~2210	畠	3590~3615

## 付 錄

小字名	地番	小字名	地番	小字名	地番
梅木ヶ迫	3616~3652	桐原	4513~4537	宇都口	5578~5645
千草場	3653~3703	馬渡	4538~4552	中原	5646~5722
六反田	3704~3747	前田	4553~4579	岡村	5723~5779
五反田	3748~3787	堂ノ下	4580~4603	葎	5780~5802
崩丸	3788~3804	築地	4604~4645	冷	5803~5831
枇杷田	3805~3818	貝吹ヶ岡	4646~4648	岡村	5832
蛭牟田	3819~3844	柵ヶ八重	4649~4651	柿木濱弓場	5833~5864
永田	3845~3879	江ヶ崎	4652~4716	平原	5865~5900
稻牟禮	3880~3819	段	4717~4799	床	5901~5947
古城小坂元	3820~3939	小椎八重坂	4800~4802	豆	5948~5981
四反田	3940~3973	石洗	4803~4848	田	5982~6021
塩井川	3974~3994	池平	4849~4891	青椎	6022~6042
金輪松	3995~4052	池伏敷木	4892~4951	平山	6043~6087
濱弓場	4053~4109	横木	4952~5016	大住原	6088~6139
大人形	4110~4150	松段	5017~5070	寺屋敷	6140~6193
伊牟田	4151~4183	池ノ頭	5071~5072	大住	6194~6236
木浦	4184~4209	宮前	5073~5101	方木	6237~6255
宇都	4210	中間	5102~5137	鼓	6256~6274
岩川	4211~4228	大道	5138~5173	後	6275~6307
正牟田三反田	4229~4258	大久保	5174~5198	矢八ノ岡	6308~6312
阿弥陀原	4259~4309	紫尾田	5199~5258	廣玉ノ上	6313~6325
茶円山	4310~4338	大塚	5259~5330	廣玉	6326~6369
移木原	4339~4382	中原	5331~5385	川添	6370~6390
正牟田	4383~4430	東迫	5386~5438	上仁田	6391~6429
堂ノ迫	4431~4460	柿木	5439~5469	山口田	6430~6471
樺廻り田	4461~4482	西迫	5472~5499	床波	6472~6512
樺廻り田	4483~4496	奈良松	5500~5527		
樺廻り脇	4497~4512	管牟田	5528~5577		

## 〔中ノ地区〕

小字名	地番	小字名	地番	小字名	地番
上岸田	1~35	水川	151~181	後田	252~300
下岸田	36~71	原木	182~205	市木	301~322
中尾田	72~98	檜木	206~232	玉桂	323~330
牧原	99~150	山下	233~251	波下	331~336

横川町小字一覧表

小字名	地番	小字名	地番	小字名	地番
仁石	337~395	川崩	1793~1845	吉下	2734~2747
鷹ノ巣	396~420	丸善	1846~1861	大道	2748~2773
年木	421~444	ノ上	1862~1883	大道	2774~2785
城山	445~491	滝ノ元	1884~1901	内司	2786~2812
栗脇	492~555	岩山	1902~1919	免迫	2813~2837
馬場	556~591	土ノ	1920~1940	田原	2838~2845
馬場	592~614	迫脇	1941~1966	田原	2846~2858
桐木	615~707	宮内	1967~1999	茶円	2859~2883
大谷	708~718	ナシ	2000~2029	新屋	2884~2902
中尾	719~756	丸山	2030~2065	瀬戸	2903~2924
中美	757~788	兵部	2066~2088	下田原	2925~2968
田平	789	ヶ丸	2089~2109	後ヶ	2969~2985
北渡	790~827	船ヶ	2110~2138	植供	2986~3014
上俣	828~836	山迫	2139~2153	養塚	
別府	837~907	坂	2154~2166	前ヶ	3015~3022
脇	908~955	天神	2167~2191	蓑部	3023~3053
諫訪	956~1023	井山	2192~2242	藤下	3054~3081
外町	1025~1037	上ゾロ	2243~2266	蓑部	3082~3108
川床	1038~1070	下ゾロ	2267~2277	井手原	3109~3118
見入	1071~1157	榎木	2278~2330	棚ヶ	3119~3138
谷口	1158~1229	良奈	2331~2389	氏ナシ	3139~3158
上谷	1230~1243	向奈	2390~2394	内落	3159~3163
堂山	1244~1306	良富	2395~2410	ノ上	3164~3179
堂山	1307~1362	草場	2411~2425	新上	3180~3215
小山	1363~1397	大迫	2426~2440	植新	3216~3241
灰ツブ	1398~1427	永江	2441~2458	前ノ下	3242~3282
瀬戸	1428~1456	江永	2459~2472	落無	3283~3308
ゴシキ	1457~1474	北越	2473~2491	内手	3309~3357
丸山	1476~1511	片白	2492~2506	井上	3358~3388
永桑	1512~1548	東迫	2507~2533	宮ノ上	3389~3417
木丸	1549~1568	片白	2534~2560	上喜	3418~3460
油田	1569~1596	後迫	2561~2589	聞田	3461~3534
渡瀬	1597~1641	大塚	2590~2627	弓場	3535~3552
山ノ口	1642~1683	愛塚	2628~2646	迫喜	3553~3589
後ノ迫	1684~1702	大塚	2647~2666	聞下喜	3590~3607
拂山	1703~1751	水ノ元	2667~2689	松ヶ	3608~3628
黒葛	1752~1781	塚段	2690~2715	牧中	3629~3658
餘り	1782~1792	下大	2716~2733	羽原	3659~3748

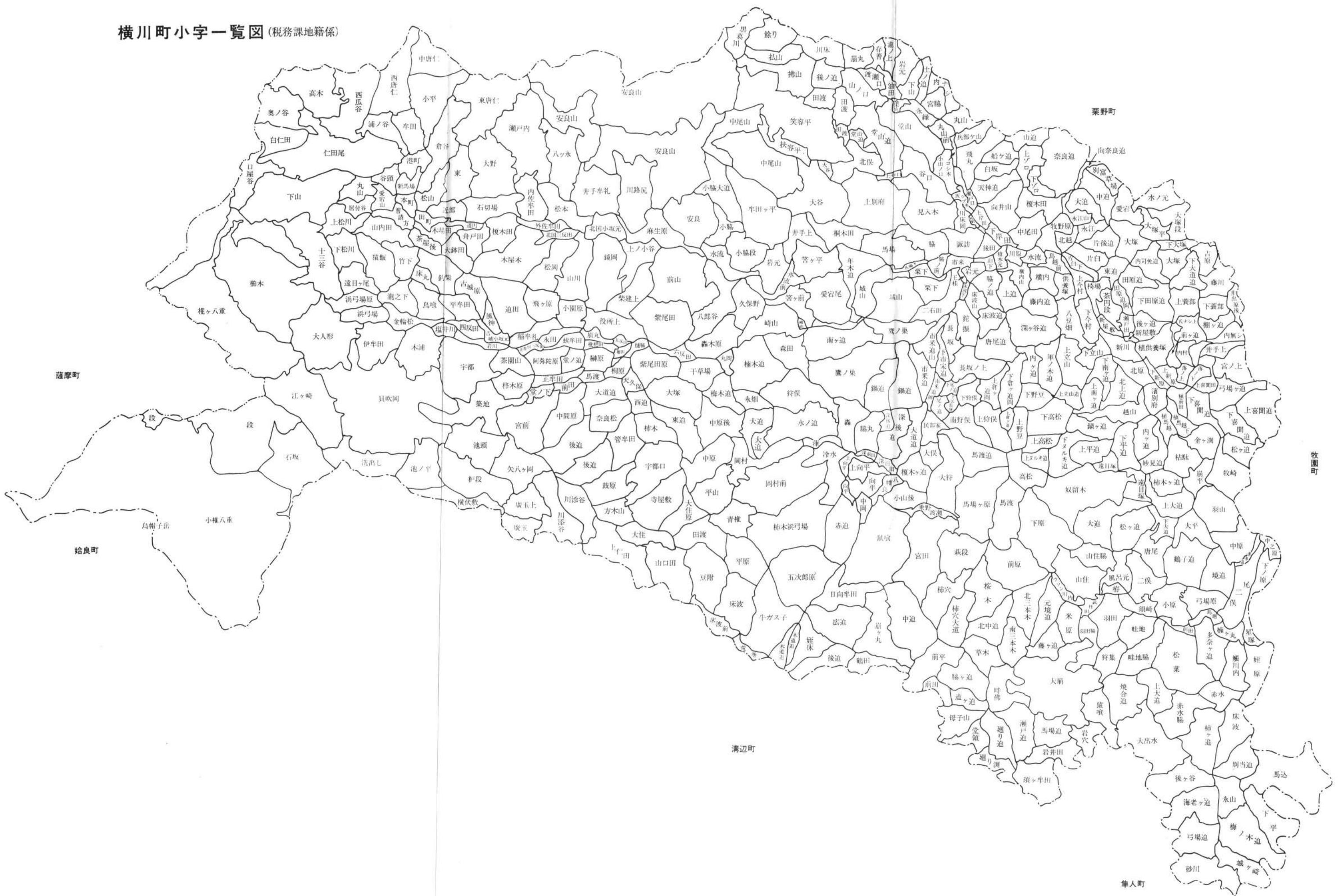
## 付録

小字名	地番	小字名	地番	小字名	地番
大平	3836~3878	上立山迫	4509~4520	市来迫山	5170~5182
下大迫	3879~3907	上立山	4521~4540	下市来迫	5183~5194
上大迫	3908~3937	下立山	4541~4557	長迫	5195~5207
崩平	3938~3973	下南迫	4558~4575	長坂ノ上	5208~5233
柿木ヶ迫	3974~4004	上南ヶ迫	4576~4587	下尾ノ迫	5234~5245
枯駄	4005~4032	越山	4588~4603	下狩俣	5246~5263
金ヶ渕	4033~4044	濱別府	4604~4640	上狩俣	5264~5288
植馬越	4045~4099	北上迫	4641~4664	南狩俣	5289~5315
植馬越	4100~4121	北原	4665~4702	下民部塚	5316~5322
妙見迫	4122~4146	新川	4703~4728	尾ノ迫	5323~5336
内ヶ迫	4147~4166	下今村	4729~4764	民部塚	5337~5355
下平迫	4167~4196	八豆畑	4765~4788	大假	5356~5379
遠目塚	4197~4216	上今村	4789~4821	榎木ヶ迫	5380~5404
上平迫	4217~4245	鳥越前	4822~4840	小山後	5405~5421
鍋ヶ迫	4286~4319	供養塚	4841~4864	八幡良	5422~5449
下ヌルキ迫	4320~4346	藤内迫	4865~4893	向平	5450~5470
上ヌルキ迫	4347~4351	横内	4894~4923	中岡	5471~5477
下高松	4352~4374	横内迫	4924~4945	赤迫	5478~5488
上高松	4379~4391	上迫	4946~4975	上向平	5489~5523
上野豆	4396~4401	深ヶ谷迫	4976~5023	深前田	5524~5550
上倉ヶ迫	4407~4417	唐尾迫	5024~5052	脇丸	5551~5574
上倉ヶ迫岡	4422~4431	床波迫	5053~5072	深後田	5575~5622
下倉ヶ迫岡	4432~4438	脇之迫	5073~5087	大道ヶ迫	5623~5652
内ヶ迫	4448	岩元	5088~5108	市来迫岡	5653~5659
軍ノ木迫	4463~4484	床波山	5109~5133	市来迫	5660~5673
下野豆	4485~4500	鉈振	5134~5169	飛丸	5674~5675

## 〔下ノ地区〕

小字名	地番	小字名	地番	小字名	地番
清水迫	1~14	楠ヶ丸	240~257	二俣	434~492
中之原	15~50	島廻原	258~277	唐尾	493~519
下之原	51~120	弓場原	278~300	松ヶ原	520~558
尾二俣	121~158	境迫	301~338	風呂元	559~608
星塚原	159~172	鶴子迫	339~382	山住	609~657
姪原	173~239	小原	383~433	山住脇	658~707

## 横川町小字一覧図 (税務課地籍係)



横川町小字一覧表

小字名	地番	小字名	地番	小字名	地番
大迫	708~773	柿穴大道	2273~2310	柿	3253~3269
奴留木	774~892	北中ノ迫	2311~2342	須崎	3270~3298
下原	893~1004	草木	2344~2373	畦地	3299~3342
高松	1005~1041	脇ヶ迫	2374~2419	畦地	3343~3403
馬渡	1042~1114	前田	2420~2454	前田	3404~3432
馬場ヶ原	1115~1223	道ヶ迫	2455~2480	松葉	3433~3508
馬渡迫	1224~1270	母子山	2481~2529	多奈賀	3509~3542
大狩	1271~1335	堂領	2530~2561	觸川	3543~3566
栗野渡瀬	1336~1353	廻り潤	2562~2589	赤水	3567~3598
鼠喰	1354~1390	廻り迫	2590~2626	赤水脇	3599~3637
日向牟田	1391~1471	瀬戸迫	2627~2697	上大迫	3638~3668
五次郎原	1472~1516	須ヶ牟田	2698~2748	焼合	3669~3687
牛スケ子	1517~1586	岩井田	2749~2787	猿	3688~3703
荒巻	1588~1609	岩穴	2788~2820	大出	3704~3729
木道迫	1610~1647	馬場	2821~2859	後谷	3730~3755
姪床	1648~1747	大崩	2860~2861	柿ヶ迫	3756~3789
後迫	1748~1781	時佛	2862~2890	床波	3790~3811
廣迫	1782~1898	南三木	2891~2927	別当	3812~3833
崩ヶ迫	1899~1946	北三木	2929~2968	馬込	3834~3854
鶴田	1947~1981	ウソン川内	2969~2988	下平	3855~3865
前平	1982~2021	元境	2989~3031	永山	3866~3885
中ノ迫	2022~2088	藤ヶ迫	3032~3057	海老ヶ迫	3886~3911
宮田	2089~2150	米原	3058~3087	弓場ヶ迫	3912~3930
萩段	2151~2175	武社田	3088~3107	梅ノ木迫	3931~3962
前原	2176~2199	羽脇	3108~3146	城ヶ崎	3963~3971
櫻木	2200~2238	狩集	3147~3186	砂川	3972~3975
柿穴	2239~2272	羽田	3187~3252		

参考文献

文 献 名	編 著 発 行 者 名
桑原郡地誌 薩隅日地理纂考	樺山資雄外著
神社明細帳 神社誌	五代秀堯外著
三国名勝図会 始良郡史跡神社仏閣	石川哲著
薩藩名勝志 天然記念物調査書	(金山由緒書中外伝金山根元記)
隅州寺院由緒 山ヶ野金山寺社由来記	須賀満曠著
金山万覚 佐々木校藏書類	鹿児島県 薩隅日州古戰場記
横川軍記 鹿児島県史	五代龍作著
長尾城史 鹿児島県史	黒襲会編
明治十年（丁丑）役略誌 山ヶ野金山鉱業誌	黒襲会編
西南記伝 山ヶ野金山鉱業誌	

薩藩叢書	山ヶ野金山のすべて	石川哲著
山ヶ野小学校九十年史	横川町埋蔵文化財	山ヶ野小学校史編集委員会
金山三百年史	発掘調査報告書	南日本新聞社
鹿児島大百科事典	鹿児島県埋蔵文化財	牧園町
牧園町郷土誌	発掘調査報告書(中尾田遺跡)	横川町教育委員会
横川町埋蔵文化財	栗野町郷土誌より 「かくれ念佛」	栗野町林昭男記引用
発掘調査報告書	隼人郷土誌	鹿児島県教育委員会
鹿児島県埋蔵文化財	日本地名大事典	鹿児島県教育委員会
発掘調査報告書(中尾田遺跡)	岩山来迎跡三尊磨崖龕	隼人町
(1)	の調査報告	角川日本地名大事典編纂委員会
	金山発(開)基	斎藤彦松
	横川町町制50年記念のあ	龍泉顯彰会
横川町町勢要覧	横川町	横川町
横川町学校要覧	横川町	横川町教育委員会
金山発(開)基	市来惟宗政賢	市来惟宗政賢
横川町考証事典	種垣史生	種垣史生
江戸御取建由緒		
色道大鑑		

## 執筆担当

脇田 圭一（町文化財保護審議会委員長）

第四章 古代／第二二章 神社・仏閣

長丸 静雄（町文化財保護審議会副委員長）

第六章 近世

佐藤 勝二（町文化財保護審議会委員）

第三章 原始・古墳時代／第七章 近

代／第八章 現代

小丸 幸俊（町文化財保護審議会委員）

第九章 横川町行政略史／第一〇章

横川町内学校沿革史／第一章 横川  
町内の官公署及び諸団体

益森 常雄（町文化財保護審議会委員）

第一章 自然／第二章 沿革概観と展  
望／第五章 中世

渕之上堅志（社会教育指導員）

第一三章 文化財／付録 年表ほか

町誌編集事務局担当

## 編纂委員

委員長 横川町長  
教育委員会教育長 羽田哲

社会教育課長 福島英行  
芝貞夫

第三章 原始・古墳時代／第七章 近

代／第八章 現代

小丸 幸俊（町文化財保護審議会委員）

第九章 横川町行政略史／第一〇章  
横川町内学校沿革史／第一章 横川  
町内の官公署及び諸団体

益森 常雄（町文化財保護審議会委員）

渕之上堅志（社会教育指導員）

第一三章 文化財／付録 年表ほか

町誌編集事務局担当

## 編集をおえて

町制五十周年記念事業のひとつとして『横川町郷土誌』が発刊されることになり、大変うれしく思います。

横川には昭和三三年に編纂された『横川町史』があります。これが、昭和四四年と五〇年に二回増刊され、同時に内容の追録もありました。

今回これを基本にして改訂新版を発刊することにしました。内容を平易にしたり、自然や民俗文化財などを加えたりしました。そして、なるべく町民に親しまれ、読まれるようにと工夫しました。

しかし、まだ足りない点も多いかと思われます。時には誤記もあるかと思いますが、先達のご指導を得て逐次改訂されますので、その点ご容赦ください。

なお、郷土誌発刊にあたり写真や資料の提供、並びに執筆にご協力、ご指導くださった諸賢に対し深く感謝の意を表します。

(渕)



編集員一同

後列左から 長丸、福島、益森、芝、渕之上  
前列左から 佐藤、小丸、脇田

# 横川町郷土誌

平成三年三月三十一日 発行

発行者 横川町長 羽 田 哲

鹿児島県姶良郡横川町中ノ263番地

編集者 横川町郷土誌編纂委員会

印刷者 第一法規出版株式会社

九州支社 福岡市中央区大手門三一五一一

